

地区別懇談会（2023.4.28） まとめ

早々に地区長さんからお預かりしていたにもかかわらず、掲載が遅れました。申し訳ありませんでした。

【夏見地区】

夏見地区は、住んでいる場所ごとに分かれて話し合いをしました。そこでしかわからない危険箇所が、たくさんありました。学校前の交差点には、防犯カメラを設置していただきました。たくさんの方々に集まっていただき、様々な意見が出て良かったと思います。 〈地区長 山西〉

【平松地区】

当初予定していた人数よりも多くの方に参加してもらえて良かったです。今回は、学習参観と学年懇談会の間での開催となったため、多くの方に参加して頂けたので、次年度もこの方法が良いと感じました。しかし、毎年同じ危険箇所が挙がっているにもかかわらず、一向に改善されていないという意見も合ったため、補導部と検討を重ねていきたいと思います。 〈地区長 稲葉〉

【針地区】

地区の危険箇所について、家の近い人とグループをつくり話し合いをしました。旧道の細さなど、物理的に改善が難しい点もありますが、安全な登校のために大人ができることはあると思うので、話し合うこと自体に価値があるものだと思います。

〈地区長 竹澤〉

【中央・ルモン地区】

年度初めに、地区の危険箇所が話し合えて良かったです。ここで話し合った危険箇所を市にあげてもらえるのはありがたいです。危険箇所について、いろいろ話を聞いたことや共有できたことは良かったです。初めて聞く箇所も知れたので、定期的に見直しをすることは大切だなと思いました。いろいろな学年の人と話し、様々な意見にふれることができて良かったと思います。 〈地区長 平野〉

【吉永地区】

地区の危険箇所について、近所の保護者の方々とグループに分かれて話し合いました。坂や旧道での車や自転車のスピード、旧道のカーブミラーの向きや角度、深い溝、見通しの悪い道、猿や鹿などの動物が目撃されて危ない、竹が倒れる等々、住んでいる地域で普段通るからこそ危険箇所として共通認識でき、話し合いをすることができました。課題はありますが、同じ悩みや意見を出し合えて危険箇所として共有できて良かったと思いました。 〈地区長 中島〉

【柑子袋地区】

柑子袋地区は、3つのグループに分かれて話し合い、それぞれ危険箇所が多く挙げられました。柑子袋地区は通学距離が長く、他の地区を通過して学校に行くため、危険箇所がたくさんあるように感じました。平松地区内でも危険と感じられる箇所があったので、合同で話し合えると良いと思いました。4月の参観時に地区別懇談会が開催でき、早い段階で保護者同士の交流が深められ、とても有意義な時間になりました。 〈地区長 三浦〉